

令和5年度 有田川町社会福祉協議会 事業報告

新型コロナウイルスが5類に移行し、当会の事業もようやく対面式で行えるようになりました。

しかし、長期にわたるコロナ禍の影響により、人々の交流意識は薄れ、社会全体のつながりが希薄化したことから、孤立・孤独の問題が浮き彫りとなり、各事業において人と人とのつながりの再構築に取り組みました。

本会の事業運営に際し、温かいご支援・ご協力を賜りました会員・各団体・施設・地域住民の皆さまに感謝申し上げます。

重点項目

令和5年度は以下の4つのことについて、重点的に取り組みました。

相談支援体制の整備

誰もが気軽に相談できるよう、身近な相談の場を提供し、関係機関と連携しながら切れ目のない相談支援を行いました。

- ・心配ごと相談(毎週1回開催)
- ・公証人相談(年2回開催)
- ・介護なんでも相談(随時)
- ・法律相談(毎月1回開催)



生活困窮者支援

生活が困窮している世帯からの相談に対し、資金貸付だけでなく、食料支援や生活再建に向けて一緒に考えるなど、相手に寄り添った支援を行いました。

約2年半にわたる特例貸付で、把握できた生活困窮者の生活再建に向け、長期的な支援を行うため、関係機関と連携するとともに、アウトリーチを行い相談支援を強化しました。

- ・生活福祉資金等貸付事業
- ・社協つなぎ資金貸付事業
- ・食料等確保支援事業



権利擁護支援

様々な生活課題を抱えた方が、地域で安心して暮らせるように、適切な制度・サービス利用につながるよう支援を行いました。

地域連携ネットワークの充実を図るため、福祉・医療・地域・司法の分野の関係機関と協力し、成年後見制度をはじめとする権利擁護支援に取り組みました。

- ・福祉サービス利用援助事業
- ・法人後見事業
- ・権利擁護センター事業
- ・見守り事業



つながりづくり

コロナ禍により中断・休止していた地域の集まりの場や各団体の活動の再開・継続支援を行いました。

関係機関と連携・協力し、孤立や孤独を防ぎ、住民相互に支え合うことができるようつながりづくりに取り組みました。

- ・在宅介護者支援事業(リフレッシュ事業)
- ・小地域交流サロン事業
- ・地域まるっと見守り事業
- ・ひとり暮らし高齢者の集い
- ・居場所づくり事業



※詳細は、社協ホームページをご覧ください。

安心・安全な仕組みづくり

権利擁護センター事業 【相談件数】253件

住民からの相談に応じ、必要な制度につながるようサポートを行いました。

また成年後見制度を含む権利擁護支援に関する制度についての普及・啓発活動として、研修会や出張講座を実施しました。



出張講座



ネットワーク協議会

つながりの場 スマイル事業 【参加者】87名

ひとり暮らし高齢者の孤立の防止や、社会的交流を図ることを目的に、町内10か所にて、アットホームな集いを地域の民生委員協力のもと開催しました。



介護保険事業・障害福祉サービス事業

高齢者や障害者に対して、訪問介護・通所介護・訪問入浴等のサービス提供や居宅介護支援・計画相談支援を実施しています。研修会等定期的に行い、職員の資質向上を目指し日々取り組みました。

自立を支える環境づくり

食料等確保支援事業 【支援回数】27回

生活困窮に関する悩みごとや困りごとを抱えている方に、資金の貸付や食料支援を行いました。

また、中央共同募金会が実施する助成を受け提供する食料品や日用品を整備しました。



福祉用具等リサイクル事業

家庭で不要になった福祉用具等を『譲りたい方』から必要とする福祉用具等を『譲ってほしい方』への橋渡しを行いました。



成立した主な物品

チャイルドシート・ジュニアシート
車いす・シャワーチェア など



支えあいのまちづくり

福祉講座事業(福祉教育)

町内の小中各学校へ出向き『福祉』とは何かを学んだり体験プログラムを組み込んだ学習の機会を提供しました。



クリーン有田川運動

【参加人数】515名
【収集ゴミ】880kg

誰でも気軽に参加できるボランティアの機会としてクリーン有田川運動への参加を住民に呼びかけ、地域の企業や団体様と協働し、吉備地域の有田川周辺を重点的に清掃しました。



ふれあいの場所づくり

居場所づくり事業 ふらっと 【参加者】310名

金屋地域にて、民生委員さんや学生・一般ボランティアの方々に協力いただき、月に1回子供や親同士が交流できる場を設けました。



小地域交流サロン事業

地域住民が気軽に立ち寄り、ふれあえる場の再開や、活動継続のための相談に応じました。また新規サロンの立ち上げ支援を行いました。

